

「まいまい姫と影の国」

■ 姫さまチーム

まいまい姫 …… この国のお姫さま。言葉をなくしている。
ソウタ …… まいまい姫の護衛。
ひな …… 別の世界からやってきた女の子。
アミカ …… まいまい姫の護衛。
ユミカ …… まいまい姫の護衛。

■ ガールズチーム

ジョー …… 元・まいまい姫の護衛。自分の国を作ろうとしている。
リュウ …… ジョーの自分。特になにも考えてない。
マーコ …… ジョーガールズ1。裏切るチャンスをねらっている。
ミーコ …… ジョーガールズ2。
ムーコ …… ジョーガールズ3。

■ 手下チーム

アーヤ …… ウツロの手下。この国の姫の座をねらっている。
ミーヤ …… アーヤのパートナー。
ユウ …… ウツロの手下の戦士1。とにかく戦いたい人たち。
ユウキ …… ウツロの手下の戦士2。
ユウタ …… ウツロの手下の戦士3。
ユウガ …… ウツロの手下の戦士4。
ボス …… ウツロのボス。姿は見えず、声だけが聞こえてくる。
ポチ …… アーヤたちに従う怪獣。

■ 大人チーム

マリン …… この国にすむ人1。一番オトナな人たち。
コリン …… この国にすむ人2。
カリン …… この国にすむ人3。
ホリン …… この国にすむ人4。
モリン …… この国にすむ人5。

▼城下町の広場

マリン、コリン、カリン、ホリン、モリンが立っている。

ホリン
モリン
これは、とおいとおい海のはてにある、小さな島の国。
一人のお姫さまのおさめるこの国は、とてもしあわせな国でした。

マリン
でもいつのころからか、ウツロ^{ウツロ}といわれる人たちが、この国にしのびこんできました。

コリン
ウツロ^{ウツロ}がふえるたびに、みんなの心は離れ離れになっていきました。

カリン
そしてずっとあたたかかったこの国に、冬がやってきたのです。

広場で、まいまい姫を取りかこんでいる、アーヤたち。

ミーヤ
アーヤ
ミーヤ
わたしたち！
さあ、まいまい姫。今日こそその王冠を渡してもらおうわよ。
そしてこの国は、わたしの国になるのよ。

アーヤ
ソウタ
アミカ
そうよ、そうよ！
あ、そうそう。わたしたちの国になるのよ！
そうはさせるか！

ユミカ
アーヤ
ミーヤ
ユウたち
あんたたちの好きにはさせないわよ！
そうよ、そうよ！
あいかわらず、にくったらしいわね。
あんたたち、やっちゃいなさい！
おう！

ユウたち、まいまい姫に向かっていく。
それと戦うソウタ。
ソウタ、強い。

マリンたち
ユウ
ユウキ
ユウタ
おおーっ！
やるな、ソウタ。
だが、ここまでだ。
出てこい、怪獣ポチ！

ポチ、出てくる。

アミカ・ユミカ なにあれ！
マリン イヌよ！
コリン 怪獣よ！
カリン でも地味にいやし系！
ホリン・モリン かわいい〜。
ユウたち かわいくない！ 恐いんだ！
ユウガ ええい！やれ、ポチ！

ポチ、ソウタにおそいかかる。
強そうなポチに、ソウタは思わずひるむ。

ユミカ あ、ソウタがあぶない！
アミカ ユミカ！たすけなさい！
ユミカ なんてよ。あんたいきなさいよ。
アミカ やーよ。あんたいきなさいよ。
ユミカ あんたいきなさいよ。
マリンたち ケンカすんな！

ひな、出てくる。

ひな やめなさい！
ユウ なんだ、おまえは。
ひな その人をはなしなさい。
ユウキ ジャマするな！

ユウたち、ひなにむかっていく。
が、やられる。

ユウたち うわーっ！
ホリン なに、あの子。
モリン めっちゃ強い！
アミカ・ユミカ いまだ！

アミカとユミカ、ポチをボコボコにする。

ポチ キャンキャン！
ホリン なにあの怪獣。
モリン めっちゃ弱い！

ミーヤ　なにやってんのよ、ポチ！
ポチ　すいません、あねさん。あいつら、凶暴です。
ユウタ　おまえは怪物だろ！
ポチ　すいません！
アーヤ　：思わぬジャマが入ったわね。
ミーヤ　今日のところは、見のがしてあげるわ。
ユウガ　お前たち：
ユウたち　おぼえてる！

アーヤたち、逃げていく。

カリン　やすっぱいセリフ…。
コリン　しょうがないよ。悪役だもん。
モリン　バイバイ。
コリン　ももちゃん、悪役に手をふっちゃダメ。
モリン　えー。
ソウタ　：ありがとう、たすかったよ。
ひな　ううん、いいの。
ソウタ　僕、ソウタ。
ひな　私は、ひな。
アミカ　私は、アミカ。で、こっちが妹のユミカ。それと、わたしたちのお姫さま、まいまい姫。
ユミカ　あとはその他大勢よ。
マリンたち　ちよっと！
アミカ　ひなはどこから来たの？
ユミカ　わたし、この国にすむ1億6千万人の顔を全部おぼえてるけど、ひなのことは知らないわ。
コリン　マジ！？
カリン　ウソに決まってるんじゃない。
ホリン　ユミカちゃん、すごい。
カリン　ホリン、人は信じればいってもんじゃないのよ。
ホリン　えー。
ひな　じつはね、わたし…。

そこに、ジョーたちがやってくる。

ジョー　やれやれ、なさけねーな！
リュウ　ヒャッヒャッヒャッ…。

ソウタたち ジョー！

その後ろでマーコ、ミーコ、ムーコはダルそうにしている。

ジョー

あんなザコ怪獣にやられてるようじゃ、とつとつこの国も終わりだな。

リュウ

オワリダナ、オワリダナ。

アミカ

見てたの？

ユミカ

だったら手伝いなさいよね。

ジョー

やーだね。

リュウ

ヤダネ ヤダネ ヤダネ。

ジョー

もうオレはお前たちとは手を切ったんだ。なんで手伝わなきゃなんないんだよ。なあ？

ジョーがふり返ると、とたんに態度を変える女子三人。

マーコ

その通りですわ、ジョーさま。

ミーコ

完ぺきなご判断ですわ、ジョーさま。

ムーコ

いつものことながら、ジョーさま…

3人

しびれますわ♡

ジョー

と、いうことだ。

ジョーがソウタの方を見ると、またダルそうにし始める三人。

マリンたち

さいてー…。

コリン

あんたたちもアーヤたちの仲間になるの？

ジョー

ウツクの仲間になる気はないね。オシたちはオシたちの自由に生きるんだ。なあ？

マーコ

その通りですわ、ジョーさま。

ミーコ

完ぺきなご判断ですわ、ジョーさま。

ムーコ

いつものことながら、ジョーさま…

3人

しびれますわ♡

ジョー

(じまんげに) どうだ！

マリンたち

ちよーさいてー…。

リュウ

ヒャッヒャッヒャッ…。

ジョー

リュウ、そこはわらうとこじゃない。

モリン

ヒャッヒャッヒャッ…。

カリン ももちゃん、マネしない。
ジョー ソウタ、仲間になるなら今のうちだぞ。昔のよしみで、今ならナンバー2にしてやる。
ことわる。

ジョー チッ…。おい、その他大勢！

マリンたち その他大勢っていうな！

ジョー じゃ、一般大衆。

コリン それもビミョー…。

ジョー おまえらもいつまでもこんなヤツらにくっついてることないぞ。この国はどうせウツロにほろぼされる。今のうちに、未

来のある側についた方がいい。つまり…(キメて)オレの方
にな。

……。

リュウ リュウ、ここはわらっとけ。
ジョー ヒヤッヒヤッヒヤッ。

リュウ ヒヤッヒヤッヒヤッ。

ジョー (女の子たちをふり返って) なあ？

油断してた三人、あわてて、

マーコ そ、その通りですわ。えっと…:ジョロジョロさま。

ミーコ 完璧なご判断ですわ、コロコロさま。

ムーコ えっと、なんとかさま、いつものことながら、

3人 (バラバラに) しびれますわ…。

ジョー もういい！とにかく、よく考えることだな。…行くぞ！

ジョーたち、去っていく。

アミカ・ユミカ やーなーやーっー。

マリン でも、いってることには一理あるわね。

コリン みほちゃん。

モリン イチリってなに？

ホリン トウガラシのことよ。ほら、よくおそばにかけたりするでしょ。

カリン それ一味！

マリン もうこの国はおしまいってこと。わたしたちも、わたしたちの自由にするわ。

アミカ ちよっと待ってよ！

ユミカ みんなも姫さまを見してるの？

マリ

見ずてるっていわないですよ。わたしたちはわたしたちで、しあわせになりたいだけよ。

コリ

みんなが昔みたいなしあわせな国にもどしてくれるなら、もんくはないの。

マリ
カリン

でもこの国はどんどん寒くなる一方だし、このままじゃ……。わたしたちはね、この子たちの面倒も見なくちゃいけないのよ。…ももちゃん、ホリン、なにしてるの？

二人、にらめっこをしている。

モリ

むずかしい話ばかりで、あきた。

ホリ

あきた。

マリ

…とにかく、そういうことだから。

カリン

わたしたちもいくわ。

コリ

じゃあね。

マリ

マリ

ソウ

ちくしょう…。

アミ

とうとう、わたしたちだけになっちゃったね。

ユミ

いよいよおしまいかあ…。

ソウ

ごめんね。会ったばかりで、へんなどこ見せちゃったね。

ひな

…なにがあったの？この国に…。

ユミ

…わからないんだ。

ひな

わからない？

アミ

うん。わかっているのは、ウツロとよばれる人たちが忍び込んで

ユミ

できて、この国を滅ぼそうとしてるってこと。

ソウ

アーヤたちは、その仲間になって、まいまい姫から王冠をう

ソウ

ばおうとしてるんだ。

ソウ

でもそれがだれなのか、どこにいるのか、ぜんぜんわからな

ソウ

いんだよ。

アミ

それでひなは、どこから来たの？

ユミ

わたし、この国にすむ1億6千万人の…。

アミ

もついい。

ひな

わたしはね、こことは違う、別の世界からやってきたの。

アミ

別の世界？

ひな

そう。この国にあるという、星のしずくを探しに…。

ユミ

星のしずく？

ひな
それを手に入れると、どんな願い事でもかなえられるんだ
て。

ソウタたち
すっげー！

ユミカ
それじゃあ、まいまい姫の病気もなおせるかも！

ひな
病気？

アミカ
そう。まいまい姫は、いつからか、言葉をなくしてしまった
の。

ユウタ
私たちもいろんなお医者さんに見てもらったんだけど、けっ
きよくなが原因かも分からなくて…。

アミカ
そのころからだんだんと寒くなってきて、このままじゃ南極
みたいになっちゃう。

ソウタ
だから、なんとしてもまいまい姫の病気をなおしてあげなき
ゃいけないんだ。

アミカ
その星のしずく、わたしたちもいっしょにさがすよ。

ユミカ
町の人たちに聞いて分ければ、何か分かるかも。

ひな
ありがとう。

アミカ
姫さまのためよ。さ、行こう。

みんな、走っていく。

実はかくれていたポチ、物かげから出てくる。

ポチ
聞ーいちゃった！あねさーん！

▼ウツロの根城

アーヤたち、出てくる。

アーヤ
なによ、うっさいわね！

ミーヤ
今はお食事中よ。ジャマしないでちょうだい！

ポチ
キャンキャン！

ポチ、逃げる。

ユウガ
よーしよしよし。どうした、どうした。

ユウ
またいじめられたのか。しょーがねーな！。

アーヤ
いじめてないわよ。

ミーヤ
失礼ね。

ユウタ
どう見たって…

ユウたち いじめてるよなー。
アーヤ・ミーヤ うるさいー！
ユウキ で、なにがあっただんだ？
ポチ さっき、ソウタたちがしゃべってるのを聞きちゃったんですよ。
ユウ ソウタたちが？
ポチ なんと…。
みんな うんうん。
ポチ この国には…。
みんな うんうん。
ポチ ヘッヘッへ…。
みんな 早く言え！
ポチ キャンキャン！…どんな願いごとでもかなえてくれる、星のしずくつてのがあるらしいですよ。
みんな えーっ！
ユウキ どんな…
ユウタ 願いごとでも…
ユウガ かなえてくれる…！
アーヤ・ミーヤ キャーッ！
ユウ うわ、びっくりした！
アーヤ じゃあ、もう、なんの苦勞もしないで、この国はわたしののってわけね！
ミーヤ わたしたち！
アーヤ あ、そうそう。わたしたちのものってわけね！
ユウたち えー…。
アーヤ なによ。
ミーヤ なにか不満？
ユウキ だってさ、そういうおいしい話って、だいたいウラがあるじゃん。
ユウタ 定番だよ、定番。
アーヤ あんたたち、夢がないわね〜。
ミーヤ どんな夢でもかなうのよ。なんか願いごとないの？
ユウガ 願いごと…。
ユウ DSがほしい。
ユウキ DSがほしい。
ユウタ DSがほしい。
ユウガ DSがほしい。
アーヤ・ミーヤ 夢がない！

ユウ だってさあ…。
アーヤ まあいいわ。ウツロのボスに聞いてみましょうよ。
ミーヤ ボスの言うことなら聞くでしょ？
ユウキ そりゃボスがいうなら聞くよ。
ユウタ だって、ボスだもん。
アーヤ ボス、いかがでしょう？

不気味な声が聞こえてくる。

ボスの声 いいだろう。その星のしずくとやら、必ず手に入れる…。
みんな ははっ！

不気味な声は消えていく。

ミーヤ ね？
ユウガ ま、ボスがいうならしょうがないか。
ユウ よーし、それじゃあ手分けして探そう。
ユウキ 搜索開始だ！
みんな おーっ！

アーヤたち、かけだしていく。

▼荒野の隠れ家

リュウがかげこんでくる。

リュウ ジョーアニキ！
ジョー どうした！

ジョーたちも出てくる。

リュウ ○▲□☆！
ジョー うん…うん…うん…人間の言葉でしゃべれ！
リュウ あ、すいません。ソウタたちが町でお宝のことを聞いて回っ
てるそうです。
みんな おたから！？
リュウ なんでも、それを手に入れたものは、どんな願いごとでもか
なうとか。

みんな どんな願いごとも!?

マーコたち、リュウにつかみかかって、

マーコ それ、なんてお宝?

ミーコ いいなさい、いいなさいよ!

リュウ たしか、星のしずくとかなんとか…。

マーコ 星のしずく…。

マーコたち、今度はジョーにかけよって、

マーコ すばらしいじゃありませんか、ジョーさま。

ミーコ ぜひ手に入れましょう、ジョーさま。

マーコ そして宝を手にしたあかつきには、このわたくしの、

マーコ わたくしの、

ミーコ わたくしの願いごとを、かなえてくださいませ。

3人 ジョーさま!

ジョー しょうがないなあ…。おい、リュウ!オしたちも探しに行くぞ!

リュウ アイアイサー!

ジョーとリュウ、かけだしていく。

3人 ちょー単純。

マーコ で、どう思う?

マーコ ちょっとこれ、来ちゃったんじゃないの?あたしたちの時代

マーコ が。

マーコ だよね、だよね。

ミーコ ジョーガールズに身をやつしてきた甲斐があったってmondわ。

マーコ・マーコ ジョーガールズ!?

マーコ そんな名前だったの、あたしたち!?

マーコ うわ、だっさ…。

ミーコ (あわてて) いやだから、仮の名前よ、仮の。

マーコ とにかく、あいつをうまいことおだてて、お宝を手に入れさせるのよ。

マーコ そして願いごとは私たちが…。

3人 (歓声) キャーッ!

マーコ　ねえねえ、願いごと、なんにする？
そうねえ…。

ムーコ　あ、あたしDSが欲しい。

マーコ　あ、あたしもDSが欲しい。

ムーコ　あたしも欲しい。

マーコ　あたしたちって…

3人　夢がないわ〜。

ムーコ　ま、それはおいおい考えましょ。

マーコ　そうね。今はとにかく、お宝ゲット！

ムーコ　そんでもって、まいまい姫も、アーヤたちも、あのバカ二人も蹴落として、あたしたちの時代を作る！

3人　（歓声）キャーッ！

マーコ　行くわよ！ジヨーガールズ！

ムーコ　…だから違うって。

マーコ　…あんた、やっぱりそれ、気に入ってるでしょ。

ムーコ　そんなことないって〜。

三人、ふと寒気がする。

マーコ　あれ…なんか寒くない？

ムーコ　ますます冬が近づいてきたのかな？

マーコ　えー、ホント、かんべん…。

ムーコ　こうなったら、さっさとお宝見つけなきゃ！お先！

マーコ　あ、ちょっと！ずるいわよ！

ムーコ　待ちなさいよ！

マーコたち、かけだしていく。

▼城下町の広場・夜

まいまい姫、ソウタ、ひな、つかれきってやってくる。

ソウタ　なかなか見つからないね。

ひな　しょうがないよ。そんなにすぐに見つかるものだったら、世

の中大変なことになっちゃう。

ソウタ　そりゃそうだよな。

ひな　…。

ソウタ　姫さま…どうしてしゃべれなくなっちゃったんだ？

ひな
ソウタ

……。

昔こは、とっても幸せな国だったんだ。そりゃ小さな国だし、なにがあるってわけでもなかったけど、でもみんな楽しく暮らしてたんだ。…でもいつからだろう。この国が少しずつ、大きくなるたびに、みんなとの距離は遠くなった。少しずつこの国は寒くなって、そして、まいまい姫は言葉をなくしたんだ。

ひな
ソウタ

…本当はね、わたしの国にも星のしずくがあったの。え！？

ひな
ソウタ

ある子供がそれを見つけて、そして願ったの。この国のすべてをくださいって。その子はとても…さびしかったから。

ひな
ソウタ

…それで？
願い通り、その子は全部を手に入れた。でもそれは、本物じゃなかった。

ひな
ソウタ

どういうこと？

ただの影だったの。こちらの世界の、鏡に映った影。本当の空も、地面も家も人も何もかも消えて、ただの影になってしまった。

ひな
ソウタ

影…。

わたしの国の名前は、あしたの国。この国の影でできた国。鏡の中の国。

ひな
ソウタ

……。

ここはきれいだね。全部が本物なもの。ここにきて、思ったんだ。本当は、わたしもただの影なのかもしれない。この世界にあってもなくても、同じなのかもしれないって…。

ソウタ
ひな
ソウタ

ちがうよ！

……。

僕、おばあちゃんから聞いたことがある。人はね、星から生まれてくるんだって。

ひな
ソウタ

星から？

だれかが願いごとをすると、その願いは空に上がって星になって、そしていつかその願いごとがかなったとき、地上に落ちて人になるんだって。…でも、世の中にはいい願いごとをする人もいれば、悪い願いごとをする人もいる。だから、いい人も悪い人もいる。でも、だれだって、だれかの願いごとから生まれてくるんだから…だから…

まいまい姫
2人

この世に、いない人なんていないんだよ。

……！

ひな
ソウタ
まいまい姫がしゃべった…！
姫さま！

でもまいまい姫は、もっ口を開かない。
二人、顔を見合わせる。

ソウタ
…探そう。星のしずくを。そしたらひなの国も…あしたの国
も救えるよ。

ひな
うん。

アマカ・ユミカ
キヤーッ！

アマカとユミカ、落っこちてくる。

ひな
アマカ
ソウタ
…なにしてんの？
ちよっと…盗み聞きを。

ソウタ
ユミカ
ソウタ
おい！
それよりそれより、星のしずくの場所が分かったよ！
どこ…？

この国の北のはて。300階もある高い高い塔があるんだっ
て。

ソウタ
ユミカ

300階！？
魔物に守られたその高い塔のてっぺんに、星のしずくはねむ
ってるって話よ。

ひな
アマカ
なんだかきゆうにドラクエになってきたわね。

魔物だけじゃないわ。ジョーやアーヤ姫たちも星のしずくを
ねらってるって。

ひな
ソウタ
じゃあ、急がなきゃ。

よし、星のしずくを見つげに…出発だ！

ダンス

▼北の果ての塔・入り口

たどり着いた北の塔の前。
全員がにらみ合っている。

ユウタ
アーヤ
これが北の果ての塔か…。
この中に星のしずくが眠ってるってわけね。

ポチ よーし、行きましょう！アネさん！
アーヤ あんたは留守番。

ポチ え！？

ミーヤ これ以上ジャマが入ったらたまらないわ。だれも来ないようにみはってて。

ポチ そんな。

ユウガ よしよし。

ユミカ あんたたちなんかにわたさないわよ！

アーヤ その足でまといのお姫さまをつれて、はたしてっぺんまで行けるかしらね？

アミカ なによ！

ユウ よし、いくぞ！

ソウタ オしたちも！

ジョー オしたちもだ！

みんな、駆け出して行く。

コリン ねえ、みんな行っちゃったよ。あたしたちも急ごうよ。

カリン そうだよ。お宝をとられちゃうよ。

マリン ふっふっふ…。

コリン はっ！みほちゃんがわるい顔してる！

マリン 分かっけないわね、みんな。

ホリン どういうこと？

マリン いい？この中は魔物でいっぱいなのよ。先に行けばいくほど、

モリン 魔物だらけってこと。

マリン コワイ！

だから、みんなが魔物をやっつけたあとを追っかけてけば、

戦わずにすむってこと。

みんな おお。

ホリン なんていうか、オトナな意見…。

でもでも、もし後ろから魔物が出てきたらどうするの？

マリン その時は、全力で…

カリン 全力で？

マリン 逃げる！

みんな おお！

マリン だいたいね、がんばって何かをやりとげようなんて、古いの

よ。今の時代は、どれだけ効率的に動けるか、これが勝ち組になるための鉄則よ。

みんな カッコいい。
マリン さ、行くわよ！

ももちゃん、ヘンなおをしている。

マリン …なにしてるの？

モリン 魔物さんが出てきたら、変な顔して笑わせるの。ケケケケケ
…。

マリン …ももちゃん。歩きながらゆっくり、人生ってものについて
話し合いましょうね。

モリン はい。

コリン やっぱり、おっとな〜！

マリンたち、行く。

▼北の果ての塔・10階

ユウたちが魔物を追ってくる。

ユウ 出たな、怪物め！

魔物 ここを通すわけには行かねえな〜！

ユウキ やっつける！

ユウたち、魔物と戦う。

アーヤ・ミーヤ やっっちゃえ、やっっちゃえ〜！

魔物をやっつける。

アーヤ・ミーヤ やったーっ！

ユウタ おい！手伝えよ！

アーヤ なんて？

ミーヤ あたしたち、女の子だもーん！

ユウガ ちくしょう！疲れるな〜。

そこに、ジョーたちがやってくる。

ジョー おっさき〜！

ユウ
みんな
あ！ずっり〜！
待て！

ユウたちも追っかけていく。
その後を、のんびりと出てくる、マリンたち。
カリン、攻略本をもってガイドしている。

カリン
みんな
はーい、ここがかの有名な北の果ての塔の中ですね〜。
お〜！

カリン
横にありますのが、ただいまやつつけられたばかりの魔物で
ございます。
ホリン
やー、きもちわるーい。

ももちゃん、変な顔をする。

コリン
コリン
モリン
コリン
：なにしてるの？
笑わないね〜。
ももちゃん、いい？命っていうのはね…

ホリン、変な顔をする。

コリン
ホリンもマネしないの！
とっぜん、魔物が起き上がる。

魔物
みんな
貴様ら！
わーっ！生きてた！

マリンたち、逃げる。

▼北の果ての塔・50階

ソウタたち、出てくる。

ソウタ
アミカ
ユミカ
アミカ
50階か…。ずいぶん来たな。
つかれたー。もうつかれたー。
でもまだあと250階もあるよ。
アミカ
げー！

ユミカ　でも、だれとも会わないね。
アミカ　迷ったのかな？
ユミカ　それとも、とっくにおいてかれちゃったのかも！
アミカ　ガン！
ユミカ　アミカがタラタラしてるからでしょ！
アミカ　違うよ！ユミカが文句言ってるからでしょ！
ソウタ　ケンカしない！
ひな　ね、ソウタ。あたしたちだけでも先に行った方がいいんじゃないかな。このままじゃ…
ソウタ　だめだよ。姫さまを置いていくことはできないよ。
ひな　でも…。
ソウタ　大丈夫だよ。星のしずくは、ぜったい手に入れてみせるから。
アミカ・ユミカ　おお〜！
ひな　…根拠がない。

マリンたち、出てくる。

カリン　はい、こちら、塔の50階でございます。回復の泉、セーブポイント、秘密の小部屋がございます。
ホリン　わー、すごい眺め〜！
モリン　ヤッホー！
カリン　カリンちゃん、くわしいね。
カリン　攻略本に書いてあるもん。
カリン　さっすが〜！
マリン　うーん、もう疲れたわね〜。今日はここでセーブして、また明日にする？
コリン　みほちゃん、ラクしすぎ。
マリン　だって、あと250階って、マジだるくない？エレベーターとかないのかな？
カリン　こちら、秘密の小部屋にフープができる魔法の鏡がございます。
マリン　わお。さっすが、名ガイド！
カリン　行き先は、200階、魔物の寝床。
マリン　……。
コリン　…なんか、ヤバそう。

みんな、ソウタたちに気がつく。

マリリン あ…。
コリンたち あ…。
マリリン ソウタ、ソウタ！
ソウタ なんだよ。
マリリン ちよっと来て。
ソウタ 何する気だよ。
マリリン いいから。…えい！

マリリン、ソウタを魔法の鏡に突っ込む。

ソウタ うわーっ！

ソウタ、ワープする。

みんなが耳をすましていると、鏡の向こうからソウタの悲鳴が聞こえる。

マリリン うん、やめところ。

さっすが、みほちゃん、おっとなく！

マリリンたち、去る。

みんな ソウタ！

ユミカ 追っかけよう！

ひなたち、ワープする。

▼北の果ての塔・200階

男の子たち、魔物と戦いながら出てくる。

ジョー ヨウ！

ユウ ジョー！

くっそ〜！追いつかれたか！

この階、敵が多すぎない？

つかれた〜。

ジョーさま、休んでるヒマはありませんわよ。

あとたった100階でございますわよ。

ムーコ 一気に行ってしましましょう。

ジヨー
え〜！
アーヤ
ほら、あんなたちも！
ミーヤ
あと100階！
アーヤ・ミーヤ
がんばって〜！
ユウタ
お前ら、なんにもしてねーだろ！
アーヤ
だからなによ。
ミーヤ
あんた、女の子に戦わせる気なの？
アーヤ
男の風上にもおけないわね。
ミーヤ
さいってー！
ユウガ
言いたい放題だな、おい。
ジヨー
ちゃんとお宝は手に入れるからさ、ちょっとだけ休もうよ。
ユウ
そうそう。
ユウキ
もうつかれた〜。
マーコ
…どうする？
ミーコ
ここらが潮時かもね。
ムーコ
じゃ、ここからはあたしらが先に行くってことで。
ジヨー
え？
マーコ
魔物さん！出てきなさい！

魔物、出てくる。

マーコ
ねえ、あたしたちさ、もうつかれちゃったから、最上階までの抜け道教えてくれない？
魔物
はあ！？
ミーコ
あんでしょ、抜け道。
ムーコ
定番じゃない、そういうの。ね、お願い！
魔物
教えるわけねーだろ、バカか、お前は。
マーコ
こんだけ出すから！
魔物
……。
ミーコ
こんだけ。…んーだったら、これだけ！どう？
魔物
あんさん、アホちゃいまっか？わてらこの塔を守るのが仕事でっせ。それをそんなはした金で…。
ムーコ
別になんの義理があるわけでもないでしよっ！いいじゃないの。そうよそうよ。魔物が義理堅くたって、だれもほめてくれないわよ。
マーコ
じゃ、こんだけ。どう？
魔物
…いやいや、せめてこれくらいは…。
ミーコ
あんた、バカじゃないの！せいせいこんなもんよ。

魔物
いやこれくらいは…。
魔物
こんなもんでしょ。

マーコ
いやいや、これくらいは保証してもらわないと…。
魔物
あんたね、いいこと？あたしらがここで引き返して、「あそこ
の塔にはなにもなかったわ」。行ってもしょうがないわよ」
って言いふらしたら、それこそおまんまの食い上げよ。こん
だけ。これ以上は無理！

魔物
ええい、今日は出血大サービスやな。ほな、これでいきまひ
よ！

ムーコ
決まり！

お互い、握手する。

魔物
ほんなら、その壁のそこんところをガコンと押ししてもらえ
たら、道が開きますよって、どうぞお気をつけて。

3人
ありがとうございます！

魔物
で、その…お支払いの方は…。

ムーコ
あそこ見て。この塔の入り口のところで、見張ってるやつが
いるから、あいつにもらってくれる？

魔物
ええと…あー、あれ。わかりました。ほな、これからすぐに
降りますさかい…。

3人
行ってらっしゃーい！

マーコたち、魔物をけり落とす。

魔物
ウツキヤーツ！

3人
いっちょよ、あがり！

みんな
ひ、ひどい…。

マーコ
いいのよ、どうせわるもんなんだから。

ミーコ
自業自得。

ムーコ
じゃ、お先！

マーコたち、かけだしていく。

ユウ
あ、こら待て！

ジョー
おいてくな！

みんな、階段を登って行く。

▼北の果ての塔・最上階

ソウタたち、やってくる。

ソウタ ついに…ここまで来たな。

ひな ここが…最上階…。

ユウたち、やって来る。

ユウ どうやら、無事にたどり着いたようだな。

ソウタ ユウ！…ジョーも！

マリンたち、やって来る。

カリン あんたたちもね。

ジョー お前ら！

マーコ なーんだ、けっきょく全員あつまっちゃったってわけ？

ミーコ さんねん。

アーヤ 星のしずくは？

その時、とつぜん雷が鳴り響き、部屋の奥に光が見える。

ミーヤ 見て！

ムーコ ……どうやら、あれみたいね。

コリン でも、なんだか怪しい雰囲気…。

カリン あれが本当に、星のしずく…？

みんな、一瞬間を見合わせる。

ユウキ ……どんな願い事でも叶えるってお宝だからな。

ユウタ あれくらい不気味な方が、本物っぽくていいじゃねーか。

リュウ どうします、アニキ？

ミーヤ どうするもこうするもないでしょ。

カリン こうなったら、最初に手にした人のものよ。いいわね。

ユウ のぞむところだ。

ユウタ おまえらなんかに負けるかよ。

カリン それじゃ…用意！

ひな 待って！

みんなが身構えた瞬間、ひながみんなの前に立ちはだかる。

ソウタ ひな…。

ひな 残念だけど…あれを渡すわけにはいかないわ。

みんな えー！

ひな あれはこの世界を…滅ぼすものだから。

ユウガ なにいつてんだ？

ユウキ どういうことだよ。

ひな 言ったでしょ。星のしずくお願いしたせいで、私の国は消え

てしまったって。わたしがこの国に来たのは、星のしずくを
こわすため。もう二度と、同じ過ちをおかさないために。

みんな 壊す！？

アミカ それじゃ、最初からそのつもりで…！

ひな そうよ。

ユミカ ひどい！だましたのね！

ひな みんな、聞いて！あれは宝なんかじゃないのよ。人間をだま
すための、悪魔のワナ…。どんな願いも叶えるなんて、そん
な都合のいいものが、世の中にあるわけがないでしょう！
そんなことないわよ。だってボスがいったもの。あれはお
宝だって。

アーヤ

ひな そのボスってどれ？

ミーヤ ボスはボスよ。

ひな 会ったことは？

アーヤ ないけど。

ひな そうよね。ボスなんて、この世にいない。ウツロなんて、本
当はいないのよ。それはあなたの中にいる、わるい心の声。

ミーヤ 心の…声？

ボスの声 なにをしている。

ひな 忘れないで。人はだれでも、世界を滅ぼせる。たった一人で。

ボスの声 そいつを手に入れる。

ひな だから戦わなくちゃいけないの。いつだって私たちは、私た
ち自身と。だからお願い。みんな、星のしずくはユウガらめ
て。

ボスの声 がかれ！

みんな、いつせいに星のしずくに向かって行く。

リュウ、星のしずくを手に入れる。

みんな あーっ！
リュウ やった、やった、やった！…あ、落とした。
みんな おーい！

星のしずくは窓から下に落ちていく。
みんな、窓にかけよる。

ユウ 星のしずくが…！
ユウキ 窓から下に…！
ユウタ 300階分落ちていく！
ユウガ そしてその下には…！
みんな ポチ！
ポチ え？
カリン ポチ！キャッチして、キャッチ！
ミーコ こわれる、こわれちゃう！
リュウ てめえ、ぜったいとれ！
ポチ え？え？え？あーっ！

ポチ、ギリギリキャッチする。

みんな やったーっ！
ポチ お、これは星のしずく…ということとは…。
みんな まさか…。
ポチ ハーハッハッハッ！オレの時代がやって来た！星のしずくよ、
ひな 世界を我が手に！
ひな ダメ！

その瞬間、雷鳴がとどろき、周りのものが次々と消え始める。

ユウタ なんだ、これ！
ユウキ 何もかも消えていく…！
カリン 空も、地面も…なにもかも…！
ひな 同じよ、あの時と。この国は、全部消えてなくなっちゃっ。
ミーヤ なにやってんのよ、バカ！
ポチ 僕のせいっすか！？
ホリン どうしよう！

モリン どうしたらいいの？

ホリン わかんない、わかんない！

ジョー 落ち着け！

みんな ジョー…。

ユウ そうだ、みんな、あわてるな。あわてたらヤツらの思うツボだ。

ユウキ まずはおちつくんだ。

カリン わかったわ。

ミーコ …それで、どうするの。

男の子たち …わかんない。

女の子たち おーい！

ムーコ これだから、男子って…。

ユミカ ひな、本当に止めるてだてはないの？

ひな ない。わたしもあの時、なにもできなかった。

カリン それじゃあ、本当にこのまま…。

ユウガ そんなーっ！

雷鳴。

みんな キャーッ！

まいまい姫 あきらめないで。

みんな、おどろいてまいまい姫を見る。

まいまい姫 あきらめないで。まだ助かる道はあるわ。

みんな 姫さまがしゃべった！？

アーヤ どうして…。

まいまい姫 みんなが、聞いてくれたから。

みんな え？

まいまい姫 やっと、聞いてくれたから。

まいまい姫、手を差し出す。

ホリン …それは？

まいまい姫 星のしずく。

みんな え！？

まいまい姫 私たちの心の中にある、小さな星のひとかけら。

モリン 星の…かけら…？

ユウガ
ソウタ

お宝は、あれ一つだけじゃなかったってこと？
そうか…。ばあちゃんが言ったことは本当だったんだ。人
はみんな、だれかの願いことから生まれてくる…。

みんな、顔を見合わせる。

ホリン

お願いしよう。

モリン

みんなで。

ホリン

みんなの持ってる…星のしずくに。

コリン

でも…なんていえばいいの？

まいまい姫

この世界を、救ってくださいって。

ももちゃん、空に向かってへんなおをする。

マリン

…なにしてるの？

モリン

神様、笑ってくれるかな？

マリン

…そうね、きっと。

みんな、輪っかになって手をつなぐ。

カリン

お願いします。

ユウキ

僕たち、もうなにもいりません。

コリン

だからお願い。

ムーコ

この世界を助けて！

みんな

お願いします！

雷鳴がとどろき、あたりは真っ暗になる。

マーコ

…暗いね。

リュウ

なんにも見えない。

ホリン

どうなったの？

モリン

全部…なくなっちゃったの？

まいまい姫

そうだよ。

ユウ

姫さま…。

ユミカ

遅かったってこと？

まいまい姫

でもね、まだ星のしずくは輝いてる。

コリン

本当？

まいまい姫

なにか、お願いをしてみて。

ユウタ　お願い…？
まいまい姫　きつと、かなうから。
ユウキ　でも…なにを願ったらいいんだろう？
ホリン　明かりが欲しい。
みんな　…。
ホリン　みんなの顔が見えるように。

少しずつ、あたりが明るくなってくる。

ユウガ　ほんとだ…。
カリン　願いがかなった…。
まいまい姫　次の願いごとは？
ミーコ　次？

まいまい姫　みんなが願いごとをするたびに、世界は新しく生まれくるの。消えてしまったこの世界を、みんなが作り直すんだよ。

みんな　…。
ユウタ　それなら…。
ユウガ　うんうん。
ユウ　もう願いごとは決まってるよ。
ユウキ　それしかないよ。
ミーヤ　みんな、いい？…：せーの！
みんな　世界をもとにもどしてください！

まぶしい光とともに、世界が元に戻っていく。

ホリン　わあ…きれい…。
ユウタ　全部もと通り、かあ…。
モリン　でも、あったかい…。

ひな、行こうとする。

ソウタ　ひな。
ひな　…。
ソウタ　行くの？
ひな　うん、自分の国に帰らなきゃ。
ソウタ　そっか。
ひな　じゃあ…。
ソウタ　ありがとう。

ひな え？
ソウタ ひなのおかげで、たすかったんだ。
ひな ちがうよ、わたしはなにも…。
まいまい姫 ありがとう。
ひな 姫さま。

みんなも口々にお礼をいう。

ひな ありがとう。
ソウタ 今度は、ひなの番だね。
ひな うん。わたしもあっちでがんばってみる。方法はもう…わか
ったから。

ホリン あ…！
ひな え？
モリン 流れ星。

みんな、空を見上げる。

ソウタ それじゃ、帰ろう。僕らの国に。
ひな みんな…バイバイ！

音楽

おしまひん